

エッセイ Essay



日々是精進

英語教師

アラン・ペイトン

私の名前はアランと申します。年配の方にアランと申し出る度に「アラン・ドロンかい？ははは」としばしば返されます。私が来日したのは4年前のことです。妻は豊橋出身で義理の母と父は今でも豊橋に住んでいます。私はアメリカ出身で長年ホテル関係の営業に携わっていました。ある日、アメリカのある賑やかな道を歩いていたら、困っている日本人に遭遇して少なからず助けることが出来ました。その経験を踏まえ日本語と英語の通訳者になりたいという野心を抱きました。その究極の目標を成し遂げるべく、日本で徹底的に勉強しなければならぬと私は思いました。妻とじっくり相談してアメリカの家を売って日本へと旅立ちました。

愛知県に着いて早速日本語力をアップする努力をしました。所謂、^{いわかる}闘魂注入。いろんな人といろんな場面で日本語を堰を切ったかのように話させて頂きました。最初の一年は地団太を踏みながら間違いだらけの日本語で意思疎通を図っていました。そして英語を会社や個人に教えるかたわら、岡崎の日本語学校に通い始めました。月日を重ねると次第に自信が増し、日本語能力試験に挑戦することになりました。まず三級を「倒さなあかんわ」と自分を叱咤激励しました。そして次は二級を視野に入れました。一年の目処を立てて二級の獲得に至りました。更に勢いを増して今度は最も難しい一級を是が非でも手に入れたと思いました。しかしながら一級の獲得は容易ではありませんでした。2回も落ちましたがそれは正に不幸中の幸いでした。2回落ちたからこそ野望に燃えました。そして、ついに3回目の試みが実りました。これから着々と通訳への目標に向かって

^{つつがな}恙無く進めたいと思っています。

話は変わりますが、豊橋リーグ戦ソフトボールのチームに縁あって参加させて頂き、毎週末チームメンバーと試合を楽しんでいます。私はアメリカで長年やってきた硬式野球の昔取った杵柄(きねづか)でリーグへ貢献することが出来ました。入部後チームメンバーから日本語に関するニュアンスの違いや深い理解を得たことに感謝の念に堪えません。チームメンバーの年齢はばらばらな為いろいろな日本語を耳にしています。メンバー達の職業や社会的立場が多岐にわたっているにも関わらず、毎週末お互い平等な立場で肩を並べているのを堪能しています。

私にとって豊橋で最もユニークな経験は路面電車の特別運行の「おでんしゃ」です。なかなかアメリカで味わえない雰囲気と風情とも言えます。期待通りに情緒豊かな車両の中でカラオケやビールやお酒を堪能できたのが楽しい思い出です。豊橋駅から発車して町中を徐々に移動しながらほろ酔い気分になったのが明白に私の脳裏に焼きついています。

この4年間豊橋で生活をしながら思いました。豊橋は居心地がよいところです。私は毎日、日本語を勉強して日本人の方たちと触れ合っています。停滞せず毎日、新鮮な空気を吸って、ポジティブな生き方を保ちたいと常々心がけています。



*アランさんは5月にFMとよはし「とよはしザ・ワールド」に出演します！
【3頁をご覧ください。】